



NewsLetter

vol.35

「ぴあ・かもみーる」日記⑮●
パオな人講座●
ボランティア養成講座を実施●



パオの
現いま在

「ぴあ・かもみーる」日記⑮

私は、今年からパオの弁護士として本格的に活動を始めました。名古屋で弁護士登録をするまでは福岡で子どもシェルターの立ち上げにも参加しました。子どもの居場所づくりがしたいという想いで、パオにたどり着きました。とはいえ、初めて「ぴあ・かもみーる」に宿直に入ったときは緊張しました。でも子どもたちも緊張しつつ、暖かく迎えてくれました。それからあっという間に4カ月、子どもたちとはリビングで雑談するくらいには仲良くなりました。

ぴあかもには、朝早くからバイトに出かけていく子もいますし、学校や塾で、またぴあかもで学習ボランティアさんと一緒にしっかり勉強する子もいます。自分なりのペースで過ごす子もいます。お菓子の家を自分で作ってしまう子もいて、子どもたちの持っている力の大きさに驚いています。

先日は、ぴあかもの子とのイベントにも参加してきました。子どもの提案で、いろいろなスポーツを楽しめる場所&食事の会です。元気よく遊び(翌日、私と同じく筋肉痛の子もいたらしいですが…)、食べたいものを食べ、満足してもらえたようです。(※4ページ参照)

現在、一人の子が次のステップに進むため準備を始めています。これからの不安やぴあかもへの未練(居心地もいいし、ご飯もおいしい)もありながら、それでも気持ちを整理して一歩ずつ前へ進もうとしています。

今年の1月から、ぴあかもに新たに入った子にパートナー弁護士として関わることになりました。最初は、物静かであり話す方ではないという印象でした。一緒にご飯に行くとよく気が利く、一方で周囲へ気を遣いすぎて自分の気持ちを我慢しているのではとも感じました。

それでも、ぴあかもで過ごす時間が経つにつれて、自分の気持ちを出してくれるようになったように感じます。今では、ぴあかものムードメーカー的存在にも。「居場所がある」ことは、その人の持つ本来の力を引き出すために必要不可欠なんだと実感します。

まだまだ子どもたちとの時間は始まったばかりで、のんびりとした時間の中で子どもたちの話を「うんうん」と聴くことぐらいしかできませんが、子どもたちの成長に負けたくない自分自身も成長していきたいと思います。(弁護士Y)

